

## 埋蔵文化財関連業務の業務改善について

## 1 概要

昨年度の文化財保護審議会でも御指摘をいただいたとおり、埋蔵文化財の調査や協議等の対応に担当者が追われており、それ以外の幅広い業務の遂行に時間を割くことが難しい状況になっています。

この状況を改善する一助になればという思いから、本市と同程度の規模の他市に埋蔵文化財関連業務についてアンケート調査を実施しました。

## 2 調査対象

近畿地方の中核市4市及び特例市1市並びに中部地方の中核市1市、関東地方の中核市2市の計8市

## 3 調査内容

別紙1のとおり

## 4 結果及び考察

別紙2のとおり

## 5 今後の方向性

他市と比較することで本市の課題点や特徴がいくつか浮かび上がってきました。そこに改善の余地を見出すことができるのではないかと考えています。

ひとつは機械化が遅れていることであり、予算との兼ね合いはありますが、効率化することで時間外勤務を含めた全体のコストは下がることを示すなどして導入を図り、作業環境を改善してまいります。また、本市では比較的試掘や立会を実施している割合が高いため、蓄積された知見を活用しつつ執行方法や指示内容を精査し、これらの業務をより合理的に行うことができれば、改善効果は大きいものと考えます。

これらにより、課題となっている時間外勤務の縮減とともに、滞っている過去の発掘調査結果の整理や埋蔵文化財以外の文化財の調査、研究及び普及啓発等の業務にも十分携われる状況に変えていきたいと考えています。